

連合農学研究科

●研究科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 生物の生産、生物資源の利用、自然環境の保全などに関する高度な専門知識と技術を修得している。

<思考・判断・実技>

2. 自然と人間社会が調和した持続可能な社会における諸問題(食料、資源、環境)の原因を理論的に解明し、その有効な解決方法を見出すことができる。

<関心・意欲、態度>

3. 自然と人間がおりなす持続可能な社会における諸問題(食料、資源、環境)を解決・解明するため、高い関心・意欲を持ち、且つ倫理性と協調性をも保持しながら、積極的・自立的・継続的に率先して行動できる。

<技能・表現・説明>

4. 自己の理論的な思考・判断プロセスや成果を的確に説明するための高いコミュニケーション能力と高度なプレゼンテーション能力を有している。

●学部のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

農学は、生物学、化学、物理学、工学、経済学、バイオテクノロジーなど、幅広い学問領域を結集・総合した学問であり、学際的な観点を包含しながら、自然と人間社会が調和した持続可能な関係を築いていく必要があります。従って、既存の学問の枠組にとらわれることなく、幅広い知識と柔軟な発想力によって、生物機能への理解を深め、生物生産力の向上と生産物の効率的利用を図るとともに、地域的な視点からのみならず、地球規模での環境の保全を見据えた将来の農業のありかたを探求する人材を求めています。

愛媛大学大学院連合農学研究科(後期3年だけの博士課程)は、このような考えに基づき、生物資源生産学、生物資源利用学、生物環境保全学、の3専攻を設け、国内の大学院修士課程からの進学を受け入れるだけでなく、二つの「留学生特別コース」を設け、当該諸国・地域における特有の研究テーマを追求する優秀な留学生も受け入れます。

農学は、人類の豊かな生活を維持・向上させるとともにそれを可能にする環境・生態系の保全・改善に欠くことが出来ない将来性豊かな学問領域です。さまざまな観点から農学にチャレンジし、これからの社会をリードしていこうという意欲のある人の応募を期待しています。

熱帯・亜熱帯農学留学生特別コースは、熱帯・亜熱帯における生物資源の生産と利用、及びそれを支える環境に関する諸科学の研究教育を目的としています。主としてこれらの地域を中心に、世界各国において研究あるいは教育に従事している優秀な中堅科学者を対象として受け入れ、

それぞれの国の将来を担う高度な研究者及び技術者を養成します。

アジア・アフリカ・環太平洋(AAP)農学留学生特別コースは、修士課程からの一貫教育により、諸外国の大学卒業生又は卒業予定者を対象として受け入れ、より高度な研究者や技術者となりうる人材を育成します。

<知識・発見・理解>

1. 農学と環境及び関連諸科学での一般的な専門知識を持って、当該専門領域における諸課題を発見・理解して、解決するために、それぞれの分野の情報収集・分析の能力を備えており、単独あるいはグループで研究できる技術的能力を具備している。

<倫理・実践>

2. 生物資源生産学、生物資源利用学、生物環境保全学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて農学と環境及び関連諸科学の研究と教育を実践することができる。

<情報発信>

3. グローバルな諸課題に自ら積極的に取り組むことができ、学び研究して得た知的成果を世界に向けて発することのできる情報発信能力を備えている。

<思考・判断・表現・コミュニケーション>

4. 科学的な思考力、客観的な判断力を持っており、大局的で幅広い見方や考え方ができて、豊かな表現力と高度なプレゼンテーション能力及び幅広いコミュニケーション能力を有している。